

各地区サロン予定

富岡町社協では、町民の皆さんのがんばりの場・交流の場として、各地区仮設住宅集会所を利用し、サロンを定期的に開催しています。健康体操や物作りなど楽しい企画をご用意しておりますので、皆さんお気軽にご参加下さい。

各サロンの予定	主な内容	各サロンの予定	主な内容
三春地区【各仮設月に1~2回(午前)】	健康体操、物作り、3B体操 他	郡山市緑ヶ丘【毎週火曜日(午前)】	健康相談、お茶会 他
大玉村安達太良【毎週火曜日(午前)】	レクリエーション、お茶会、ゲーム 他	いわき市好間【毎週木曜日(午前)】	物作り、ゲーム、お茶会 他
郡山市富田【毎週月曜日(午前)】	健康教室、物作り、3B体操 他	いわき市下高久【毎週金曜日(午前)】	物作り、ゲーム、お茶会 他
郡山市南一丁目【毎週金曜日(午前)】	健康教室、カレンダー作り、ゲーム 他	いわき市泉玉露【毎週月曜日(午前)】	ほっこりカフェ開催時参加(健康体操 他)

*都合により、日程等変更になる場合がありますのでご了承下さい。

お問い合わせ 郡山市・大玉村・三春町に避難されている方 024-935-3345 いわき地区に避難されている方 0246-38-3580

受賞おめでとうございます

2月28日(土)、第18回ふくしまボランティアフェスティバルがビッグパレットふくしまで開催されました。その式典において県社協会長表彰式が行われ、絵手紙講師の佐藤洋子さんが県社協会長より感謝状を授与されました。



佐藤さんは、平成11年から富岡町社協主催のボランティア養成講座や絵手紙ボランティアたんぽぽの講師として活動し、震災後は自ら元会員等に呼びかけをし、いわき市内や郡山市内にある交流サロンやおだがいさまセンターで“生きがいづくり”的絵手紙講師として活動しています。受賞おめでとうございました。

お知らせ

新年度(2015年4月)から、これまで富岡町社会福祉協議会の事業として実施してきた「おだがいさま工房」と「語り人」事業は、それぞれ独立することになりました。

おだがいさま工房は、郡山は「おだがいさま工房」、いわきは「おだがいさま工房 IWAKI」という名称で活動します。語り人事業は、「富岡町3・11を語る会」という名称で活動します。

活動の中身は変わらず、富岡町民が富岡町への思いを込めて活動するものです。

これからも皆様のご参加と暖かい応援をよろしくお願いします。

*これまで通り「おだがいさまセンター」のホームページからアクセスできます。

好間サロン 編み物教室

2月26日(木)いわき市好間応急仮設の健康サロンで「編み物教室」が開催されました。前回の参加者からの熱い希望による2回目の開催です。講師の三瓶容子さんに様々な編み方を熱心に教えて頂き、6名の方がマフラーや座布団カバーなどを楽しみながら製作しました。三瓶さんに持参して頂いた見本のセーターなどや本を見て、次回作に胸を躍らせている様子が印象的でした。



桃の花が咲きました

桃の開花時期は3月下旬~4月上旬ですが、一足先におだがいさまセンターに飾っていた桃の花が咲きました!



編集後記

もうすぐ3月も終わりです。だんだんと春らしくなってきましたね! 皆さんは暖かい春が来たら何がしたいですか? 私はポカポカ陽気のお休みの日にお昼寝やカフェ巡りをしたいです(^v^)(松本)

社会福祉法人 富岡町社会福祉協議会

場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅)
おだがいさまセンター内

TEL 024-935-3332 FAX 024-935-3334

ホームページ

<http://odagaisama.info/>

ツイッター

@odagaisama

ホームページ

[ツイッター](#)

ツイッター



えみ 富岡町 社協だより 笑～る

116号

2015年3月16日発行

発行

社会福祉法人
富岡町社会福祉協議会

静岡県掛川市民生児童委員協議会視察

2月25日(水)静岡県掛川市民生児童委員協議会が視察研修のため、郡山市富田町高齢者等サポート拠点(おだがいさまセンター)を訪れました。

視察研修では、まず富岡町の被害状況や避難状況等を説明したあと、各グループに分かれて富岡町民生委員との交流を行いました。静岡県は原子力発電所立地市町村があり、南海トラフ巨大地震の可能性があることから、グループ交流では災害時の要援護者の避難誘導や避難後の所在確認方法等について活発な意見交換がされました。



味の素料理教室in東雲

2月23日(月)東京のグランチャ東雲にて、味の素料理教室が開催されました。東雲での開催は2回目で、参加した皆さんは楽しく料理を作り交流を深めていました。また次回の開催を心待ちにしている様子でした。



メニュー

- 高野豆腐とひじきの混ぜご飯
- ブタとダイコンの巻き巻き～重ね蒸し
- 切干大根とにらのさっぱり和え

んだしきライン



羊毛フェルトでだるま作り

2月20日(金)福島市の富岡町さくらサロンで、NPO法人しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島より3名の講師を招き、羊毛だるま作りが催されました。

参加者の皆さんは初めての羊毛の扱いに戸惑いながらも、徐々に口数が少なくなるほど没頭していました。それぞれに愛らしいだるまが完成しました。



四倉交流サロン パッチワーク作品展

2月22日(日)～28日(土)初心者の方々のパッチワークサークル作品展が、いわき四倉交流サロンで行われました。まだ1年半という短い間にもかかわらず、ポーチやバッグ・タペストリーなどを作れるまでになりました。見学に来てくれた方々も驚き、「こんなに出来るの!?'と感心していました。次回からの作品にも力が入ることでしょう。



南一丁目 冬の催事 おこわ作り

NPO法人ハートネットふくしまさんのご協力のもと、2月21日(土)郡山市の南一丁目応急仮設にて、自治会主催の冬の催事『おこわ作り』が行われました。炊きたてのお豆と山菜のおこわは仮設の皆さんに配布され、とても美味しいと好評でした!



干支『未』作り

2月20日(金)いわき泉玉露交流サロンにおいて、今年の干支『未』作りを開催しました。スタッフが縫う順番の指導を行いましたが、参加者の方々はスタッフのはるか上をゆく腕前で、縫う場所が多いにもかかわらず、早々に仕上げていかれました。

昨年の『午』から始まったので「これから楽しみだわ」と言う声をいただき、サロンスタッフ一同嬉しいとともに、参考資料を探す楽しみが増えました。



語り人欧洲口演

2月23日(月)～28日(土)グリーンクロスの招聘で、パリ(仏)とウェールズ(英)に行ってきました。菅直人氏、飯田哲也氏という政治家や専門家(再生可能エネルギー)の話と共に、社会福祉協議会の生活復興支援の立場からのスピーチは、福島の現状と課題がよくわかったと評されました。

ウェールズの小さな島アングルシーの、美しい緑の牧草地と羊達、その向こうに見える原子力発電所の四角い建物…人間の求める「幸せ」の正体とは何なのだろうかと考えさせられました。(アングルシー島の買収は日本企業によって進められています。)



富岡高校の現在

2月20日(金)おだがいさまFMの取材と語り人の資料作成のため、富岡高校の校舎に入りました。大和田修校長先生の許可を得て事務職員の案内で入った校舎は、生徒昇降口の「富高賛歌」、校長室に飾られた「富岡高校校歌」の額は微動だにせず、生徒の歌声が聞こえてくるようでした。

教室はノートや教科書が散乱し、開いたままのノートに鉛筆、飲みかけのジュース、黒板には授業の板書がそのまま残っていました。一人一人の大切な人生の1ページがここに置き去りにされていることに割り切れない思いが湧いてきます。教頭先生のお話では、近いうちに、当時の在校生に呼びかけ、校舎に入つてもらうことを考えているとの事でした。人工芝の校庭に野球のボールがひとつ…残っていました。



4月から独立 これからも応援よろしくお願いします!

『おだがいさま工房』

工房開始より試行錯誤をしながら3年目。自然の草木から染色を抽出できるようになり、多くの方々から好評を頂きました。その培ってきた染めの技術を更に高め、富岡の豊かな自然をテーマにし、町の風景を大切に新たな文化として、町の産業にも大きな望みを掛けて、草木染の製品の数々を心を込めて作って参ります。今後ともご支援よろしくお願い致します。私達とオリジナル製品の仕上がった時の共感を味わい、共に働く方お待ちしております。また、体験もできますので、草木染めや織り・仕立てに興味がある方は是非見学においで下さい。



『おだがいさま工房IWAKI』

富岡町の新たな文化を生み出す為、織りと仕立てを中心としたおだがいさま工房IWAKIは2013年9月に開所してから1年半、さり織りの講師の指導の下研修をして参りました。町の復興や産業の後押しとなるよう、これから私達みんなで力を合わせ、良い作品を作っていくよう頑張りますので、皆さんこれからも宜しくお願いします。

